

2017年4月26日

## 七ヶ浜みんなの家 はまのわ通信 vol.4

RSY 七ヶ浜事務局

『七ヶ浜みんなの家 はまのわ』は今夏完成のスケジュールのもと、工事が進んでいます。住民の方々は建設が進んでいるのを見がてら、きずなハウスに来ては、「ようやく始まったねえ。楽しみ。」「夏はたくさん人が来て、忙しくなるね。」と嬉しそうに話してくれます。

七ヶ浜町は被災後、ご近所での縁側や沿岸部にあった小さな商店など、気軽に人が集まる場所が少なくなってしまったことにより、特段の用事がないと外に出ない人が増えてしまいました。特に、震災から6年を経てようやくたどり着いたはずの災害公営住宅では引きこもりがちになっている高齢者の居場所作りが課題になっています。

きずなハウスの利用者の内、約50%が中学生未満の子どもたちですが、60代以上の高齢者も約15%が利用されており、地域の憩いの場の一つになっています。災害公営住宅でのお茶会に参加した際に「せっかく町の集会所ができるのだから、3か月に1回は地区の集会所じゃなく『みんなの家』で開催したいね」という話もありました。こうした声もあり、高齢者も気軽に寄れるような『みんなの家』をめざしたいと考えています。幸い、『みんなの家』の一面に、町の唯一の巡回バス「ぐるりんこ」の待合所も設置する予定なので、バスを待つ間やお帰りの際には、気兼ねなくおしゃべりいただけるような憩いの空間にしたいと考えています。



基礎も出来ていよいよ「柱建て」の準備中。



子どもの声聞くだけで元気が出るわ、と話す。



お茶会以外では集まる機会も少ない、  
皆さんはこうした「場」を楽しみにしている。



防潮堤も完成！七ヶ浜の夏もすぐそこ！